

# 轉 教

5  
2019  
May

信のとびら

お戒壇

5月のご奉公のすすめ

5月のお寺の行事予定

3月のご奉公目誌

事務局御講 ご法門

御本尊下附式

聞泉寺団参

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

助行と現証利益

久野信友師

私のよろこび

先々を見据えて

次世代に着々と

後続者育成活動報告

家族の絆 Q&A

何をしにお寺に行っているのか？ その6



佛立本旨講妙應寺

# お戒壇

## ■お戒壇の歴史

佛立本旨講では、仏壇のことをお戒壇とよびます。お戒壇の歴史は、インドの時代に溯さかのぼります。中国へ渡つてもお戒壇を建て、そこで僧侶になる為に戒律を受ける儀式を行なったと記録されています。日本でも、奈良時代からお戒壇を建てて儀式をしたと書き残されています。それを受け継いで

でいるのが私達のお戒壇です。

戒壇の戒は、物事のいいところを伸ばし、悪いことは慎むという教えです。その戒を守るのが仏道修行

の重要な要素です。そこで我々信者は、お戒壇を建立し、ご本尊を奉安して拝ませて頂いているのです。

## ■お給仕から学ぶこと

仏様を拝みお給仕をする

ことを通じて敬いの心を学びます。すると自然と仏様がお住まいのお戒壇を綺麗にしようという気持ちが出てきます。

日扇聖人の御教歌に、

へ仏前の香花灯明ふき掃除すればわが身の福德となるとあるように、お戒壇にお花をあげたり、拭き掃除をすることが大切です。清潔に保ち、朝にはお初水を差



し上げる、何か頂いたらお初をとって差し上げる、という具合で、年中お仕えするという気持ちを持つことが大事なのです。お給仕第一という心をお戒壇から学ばせていただきますよう。

### ■お戒壇とお看経

そして、さらに大切なことは、朝に晩にお題目を唱える「お看経」です。

お戒壇を、家族で共通した敬いの中心となるように気を配りましょう。自分一人が敬い大切にしているだけでなく、家族も一緒にと伝える努力をしましょう。たとえば、朝は忙しければ

夜にはそろってお看経しようとか、出かける時は必ずご挨拶をしようとか、家族の中心にいつもお戒壇があるようになる大変けつこうです。

### ■お戒壇を中心にした家族

ある信者の家族は、朝のお給仕やお講の準備を家族で手分けしてしているそうです。ちよつと近所に行く時でも、子供たちは御宝前に挨拶してから出かけるそうです。日頃の積み重ねで、敬いの心は伝わってゆくものです。このように日常生活の中に自然とお戒壇への敬いが溶け込むよう伝え

ましょう。

それは、一朝一夕で伝わるものではありません。様々な工夫が必要だと思います。一緒に暮らしている家族にも、離れて暮らしている家族にも、一日のお礼を御宝前にする習慣や、先祖回向の大切さを伝えるなど、お戒壇を通して家族が一体となれる、その事に重点を置いてご奉公させていただきますましょう。家族に伝えることを諦めない、そのことが大切です。

# 5月のご奉公のすすめ

## 今年度の御奉公テーマ「助行」

日歡上人は、御宝前の敬いを厳格になさり、お看経を沢山唱えて「日本第一の弘通家」と称賛されるほどのご奉公をされました。その教えを受け継ぐ私たちが、日歡上人の足跡を語り伝えて次世代信徒の育成にはげましましょう。

## 今月の「随喜轉教」

何事にも不足を思わず笑顔で日々を送り、人の幸せを祈り、ご利益の喜びを伝えることが、「随喜轉教」となります。このご奉公は相手に寄り添ってさせて頂く事が大事です。

## 来月の「ご奉公のポイント」

### 一、開導会

夏のお会式開導会（御正当会）は6月16日（日）に奉修されます。奉修費・お花料・御供米料は寺務所に、参詣予定者数は受持ち講師に6月2日（日）までに報告し

て下さい。

日蓮・日隆両祖の教え通りの信心を再興して下さった開導日扇聖人への報恩感謝の思いで全信徒が願主となって奉修させて頂き、家族そろってお参詣させ

て頂きましょう。

### 二、静岡聞信寺団参

6月23日（日）は静岡聞信寺への開導会団参です。同志寺院のご弘通発展の為、大勢でお参詣させて頂きましょう。参詣当番は第3地区です。他地区の方々にも声をかけ応援参詣を勧めてください。

### 三、信徒講習会

令和元年度、第一回信徒講習会を左記の日程で開催します。テーマは「家族の絆Q&A」と「百日参詣体操」です。是非受講しましょう。

6月6日（木）午前9時半

6月22日（土）午前9時半

6月30日（日）午前9時半



# ふなばしアンデルセン公園



## 5月の寺内予定

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願総講	10時半
4日	<b>土</b> 運営会議	9時半
5日	<b>日</b> 蓮華会錬成会申込メ切	
11日	<b>土</b> 連合幹事会	9時半
	後続者育成連絡会	10時半
12日	<b>日</b> 日歛上人祥月御香料・塔婆・参詣人数申込メ切	
13日	月 高祖大士御命日総講	10時半
17日	金 開導聖人御命日総講	10時半
19日	<b>日</b> 蓮華会錬成会（船橋アンデルセン公園、写真上）	7時半
	開講本旨再興祈願口唱会（第3地区、管理部）	9時半
25日	<b>土</b> 門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会	12時半
	日歛上人祥月御命日法要準備御奉公	13時半
26日	<b>日</b> 日歛上人祥月御命日法要	10時半

# 3月のご奉公日誌

## 事務局御講が奉修されました

妙應寺事務局一年間のご奉公の御礼と新年度への決意を込めた事務局御講が奉修されました。当日の御導師ご法門（要旨）を掲載します。全文はホームページでお聴きください。

### 17回忌を機会に

年度替わりにあたり、一年間を振り返り来年度へのご奉公の決意を新たに

いただく時です。今年は特に、日尚上人御17回忌の機会に、佛立本旨講とは何なのか、という事を日常的に次の世代の方に伝えるご奉公をしてゆかねばなりません。宗門の事件ばかりでなく、開導聖人の本意を受け継ぐという事がこうなんだという事を、これまで三本の柱にまとめ

いたが、改めてそのことを見つめなおして、もつと深めて行いましょう。

### 家族の絆を深く

御宝前へのお敬いを家族で共有する努力をしてください。

### 熱い思いの奉公

御初めの御盛物を差し上げるとか、お祖師様のお綿を丁寧に見るとか、家族に見てもらって、手伝ってもらって、真剣にやっている敬いというも

そんな熱い思いで

平成31年のご奉公を進め、実り多いものになりますように精進してください。





日区長尋  
4月23地区  
第1地区  
岩淵千

朝から快晴に恵まれ、途中車窓から富士山が見えました時は「わーっ」という声が聞こえました。途中で、奉修時間に間に合うかハラハラしながら、ギリギリ間に合うことができてホットいたしました。

## 平成31年3月行事報告

1日～7日		「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」
1日	金	開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
2日	土	運営会議を午前9時30分より開催
3日	日	開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半より奉修（第二地区、総務）
//		若い人の口唱会を午前10時30分より奉修
7日	木	春季総回向・御回向・御塔婆・バス申込締切
9日	土	連合幹事会を午前9時30分より開催
//		後続者育成係連絡会を午前10時30分より開催
10日	日	れんげまつりを午前10時30分より奉修 (高祖大士御命日総講に併修)
17日	日	開導聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
18日	月	春季彼岸朝参詣週間 18日～24日
21日	木	春季彼岸総回向法要を午前10時より奉修
23日	土	事務局御講を午前10時より奉修
24日	日	団参・聞泉寺 門祖会
25日	日	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
//		正副教区長会を午後12時30分より開催
六角堂行事		
21日	木	春季彼岸総回向法要を午後12時30分より奉修



富坂警察署からの興味深い講話



老若男女が歌える選曲をしました。



晴天に恵まれたお彼岸の中日



# ねんげまつり

3月10

日④に恒例のねんげまつり

が開催されました。

まず併修された高

祖大士御命日総講で

の御看経のあと、昨

年に引き続き「日蓮

聖人物語第二話、立

教開宗までのストー

リ。詳細はホームページ

ジでご覧下さい。

続いて、所轄の富

坂警察署生活安全課

の方に、最近の振り

込め詐欺の実態をビ

デオを使って説明し

ていただきました。

課長の話術は大変面

白く、例えば、「大切

なお金は銀行に預け

るとオレオレ詐欺に

狙われる。自宅にお

いても強盗まがいの

アポ詐欺にやられる。

安全・安心なのはお

寺に御有志すること」

と、意外な展開に大

爆笑でした。①

最後に、埼玉東教

区のEさんのMC、

杉並教区のKさんの

ピアノ伴奏で「早春

賦」などを歌いまし

た。②

# 春季総回向

3月21日 8

日水・祝

に春季彼

岸総回向

法要が午前10時より

六角堂にて奉修され

ました。③④

グリーン倶楽部が

丹念に育てていただ

いた花々が咲き誇り

私たちを迎えてくれ

ました。



# 百歳おめでとう

水戸教区 Mさん

人生の道標みちしるべにする」という「受持法華名者 福不可量」から引用されたものです。

法華経を信じ、守護する者の功德は計り知れない、という意味を持つてます。

水戸教区のMさんが百歳を迎えられ、そのお祝に御導師助行を行いました。

その際に、御導師から、左の色紙が贈られました。

ここに認められている「福不可量」というのは、「法華経を

## 御本尊 拝受のよろこび

千葉中央教区

Uさん

この度、護持御本尊様を拝受させて頂く事になり心から感謝申し上げます。心

新たに恭敬の気持ちを大切にお給仕させて頂きます。又、息子の信行相

続に繋がれるよう、ご奉公に励みたいと思います。



御導師より御本尊が下附される



お給仕の講習会



9 無事奉安されました。

# 助行と現証利益

久野信友師

御本尊を生きていらつしやる御佛みほとけと信じて敬いの心を養

い、御宝前のお給仕と口唱信行につとめ、どんな問題も御宝前にご祈願を立て、現証利益を頂いて乗り越える信行を身に付けるため、信者同志が相互に交流して信心を磨き合うことを助行といえます。

或る若い信者の信行体験談ですが、「私は、毎月教区内の信者宅にお助行に行っています。有難いことに、何処の家でも笑顔で迎えてくれます。又、どんな家に行っても、御宝前のお給仕とお看経とお寺参詣と先祖のご回向だけは



忘れず勧めて帰ってきます。するとなかには、お陰で御宝前のお給仕が楽しくなりました、とか、祖母の命日にお寺に行つてご回向してきました、と喜んで連絡してくれる方がいます。これからも次世代の方の所にお助行して、育成につとめたいと思つています。」

もう一人の方は、「私の母は、晩年になって病で倒れた時、ご信者の皆さんに詰助行して頂き、母の生きる力がメキメキ元気になり本当に助

かりました。困った時お互いに助け合える信心だとわかり本当に有難く感謝しています。そしてこの信心をしています。このようにお助行で助けて頂いた喜びを語つていらつしやいます。

つまり、お助行とは、受ける方だけでなく、させて頂く方も共に現証の利益を見て妙法の御経力を現実体験して信を固めるご奉公です。互いに協力して助行を盛んにいたしましょう。

# 後続者育成 お助行よい

杉並教区 I さん

## いかにして誘うか

今回は、杉並連合杉並教区  
のHさん宅で後続者育成助  
行を開催させていただきまし  
た。

お看経後、若い後続者の  
方々と、お寺やお講席にどの  
ように将引するについて話し  
合いました。

まず、若い方でもYouTube  
などの「宗教・信仰」のお  
話を沢山の方々が聞いている  
のではないかと考えます。実  
際、若い人たちは、何かにす  
がりたい気持ちを持っている  
ことは確かです。本旨講でも  
YouTube等を利用してすばら  
しい法話を皆に聞いてもらえ  
るようにSNSの活用ができ  
るようにしています。また、  
お寺に自由にお参り出来る環

境が行き届いていないところ  
もあるのか、改良点もうかん  
できます。

しかし、若い世代の後続者  
のことを考える前に、その親  
達が心から信行相続を願って  
いるように見られない、親た  
ちの意識改革をしなければい  
けないこともわかってきまし  
た。

お講には参詣しないが、年  
回法要には子供や孫も列席す  
るので、法要を中心にご奉公  
すると後続者の方々に会える  
チャンスが増えるのでは、と  
色々な意見ができました。



YouTube

グーグルというアメリカの  
会社が運営する世界最大の動  
画共有サービス。

妙應寺でもお会式の際に上  
映するスライドは YouTube  
という無料サービスを使って  
パソコンかスマホからいつで  
も閲覧できるようにしていま  
す。

このように、利用者が手元  
の動画データを投稿すると、  
インターネットブラウザなど  
で再生できる形式に変換し、  
他の利用者が閲覧できるよう  
にインターネット上で公開さ  
れるサービスを YouTube と  
いいます。

# 先々を見すえて

多摩教区 Nさん

## 成人式をきっかけに

先日、お寺での成人式の式典に、新成人の息子のKと家族五人揃ってお参詣できました。水戸の両親も揃い、周りのご信者さんたちからも、温かいお祝いの言葉を沢山いただきました。大変嬉しく思いました。式典後の祝賀パーティーも楽しく過ごさせていただくことができ、良い記念となりました。

昨年の長男Sの成人式の式典では、主人が前日からの足の痛みで一人だけお参詣が叶いませんでした。その為、今回は、早いうちから家族そろって参詣できるよう御祈願

をかけ、参詣成就となりました。

## 初めてのご奉公

本日の甲御講ではKが御導師のお迎えを引き受けてくれました。初めての迎えのご奉公の話を頂いた時は、引き受けてくれるかなあと、いう気持ち先立ってしまつたのですが、気持ちを切り替え、お題目を唱えてから本人に伝えたところ、快く承諾してくれました。

## 先ずは御法様をお願い

やはり何事も自分がどう思うかよりも、まず、ご法様をお願いすることが大事ということを実感致しました。三人

兄弟の中でいつも怪我に見舞われるKを気にかけて下さつ

たお講師より、「自分でも御祈願をかけた方がいいね」と本人に直接お声をかけくださり、昨年からです、ご祈願カードを毎月書いてくれるようになりました。

## ひとを想いやる心を

今はまだ、自分の為だけのご祈願ですが、いずれ他人を思いやる気持ちで自分以外のご祈願も立てられるようになれたらと思います。あせらず、折に触れて子供達のご信心を確かなものにするためにも、信行相続のご奉公に精進いたします。



# 私のよろこび

## 次世代に着々と

目黒教区 Rさん

今年の成人式には、新成人のMさんとAさんが式典に参加してくれました。本当にうれしく思いました。Mさんは、この4月から自宅のそばの幼稚園の先生として就職されます。門教会では、司会のご奉公もされ、これからのお寺を担う若い信者さんです。また、Mさんの母親のTさんには、

4月から連合幹事のご奉公をお願いしました。仕事もあり、忙しい毎日ですが、連合幹事会だけ出席して頂くだけで良いという約束で、普段のご奉公は、教区の役中がさせて頂

くことにしました。次世代の若い方々にご奉公を少しお願いして、後続者の育成を考えてのことです。ご信心の若い芽を摘まないように、育てることが信仰相続のご奉公ですから、自分たちの子供や孫へ少しでも、ご信心の良さを伝える努力をしていきたいと思っています。



# ★こどもたちの会★

## 「何をしにお寺に行っているのか? 6」

<p>と首が鳴って</p>  <p>え!</p> <p>グキ</p> <p>⑥ 呼び止められた気がして振り向くと</p>	<p>この度は弟さんがご本尊を奉安されたそうですね!</p> <p>ハイ! そうなんですよ。やっと願いが通じました!!</p> <p>①</p>
<p>不思議な事ですね!!</p> <p>痛みがそれきり消えてしまったという訳なのです!</p> <p>⑦</p>	<p>それは感心ですね。何かお願いがあったのですか?</p> <p>弟はご本尊を頂いた正式な信者ではなく、お寺参詣だけ続けていました。</p> <p>②</p>
<p>それもお寺参詣は続けたのですね!</p> <p>そんなにありがたいご利益を頂いたのに、弟はまだワガママを言ってお本尊は奉安しなかったのです。</p> <p>⑧</p>	<p>痛みから救って頂きたくてお寺に通っていました。</p> <p>弟は背骨がズレてしまった為、仕事ができなくなり、モンとしていたのだと思います。</p> <p>③</p>
<p>病気によって信心を教えられたのですよ。良かったですね!</p> <p>ハイ、でも次は肝臓に病気が見つかり、さすがに弟も納得してご本尊を頂く事ができました。</p> <p>⑨</p>	<p>どうかこの痛みを取って下さい。南〇～経!!</p> <p>④ よほど首が痛かったのか、根気強くお参りしていました。</p>
<p>続けたお寺参詣で頂いたご利益ですね!</p> <p>これからはしっかり弟の信心を育てて行こうと思います!!</p> <p>⑩</p>	<p>おい!</p> <p>それがあつる日、本堂の日向上人のお写真に手を合わせ、て帰る時!!</p> <p>⑤</p>

## 辞令伝達式・ご奉公のお誓い

4月1日に今年の役中、事務局の辞令伝達式①②③、信徒代表によるご奉公の誓い④が行われました。



# 轉教

令和元年5月1日発行 第20巻第5号 通算231号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人

表紙絵：鈴木晴香（埼玉東教区） モデル：ウラン（鈴木晴香さん）